

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 北海道留辺蘂高等学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

住所 〒091-0026
北海道北見市留辺蘂町旭公園104番地5

E-mail : rukou-z0@hokkaido-c.ed.jp

Website : http://www.rukou.hokkaido-c.ed.jp/

児童生徒数：男子 52名 女子 71名 合計 123名
 児童・生徒の年齢 15歳～18歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

本校では「社会で自立し共生できる生徒」を目指す生徒像とし、キャリア教育とESD(持続発展教育)の両方の観点にもとづく教育活動を展開している。

○人間関係形成・社会形成能力の育成

～コミュニケーション能力全般を育むトレーニングの実施～

・1年次の「産業社会と人間」、2・3年次の「LHR」や「総合的な学習の時間」を通して、構成的グループエンカウンター(SGE)やソーシャルスキルトレーニングなどを行い、担任・副担任を軸とした教員主導による集団カウンセリングを行っている。

・本年度は2名のスクールカウンセラー(中野武房氏と白川純子氏)が定期的に来校し、SGE実施のアドバイスや個別カウンセリングを実施した。

・中野氏と本校福祉科教員による教職員研修の実施

生徒のコミュニケーション能力を育成するため、SGE等の演習を通して、教員自身の実践力を伸ばすことを目的とした。

・生徒会が主体的に友達や教員との関係を深めるため、2月より毎週木曜日に「Noケータイday」を企画し、実施した。

○国際理解教育の実施

・学校設定科目「外国事情」において、北見工業大学の許斐ナタリー准教授や留学生(韓国・ベトナム・パナマ・モンゴル)を外部講師として、講話を通じた異文化理解や英語によるペアワークなどを通じたコミュニケーション能力の育成を図った。

・昨年度より継続して、本校3階にALTが在駐する国際理解教室を設置し、昼休みや放課後などに生徒と異文化コミュニケーションを図っている。

・昨年度に引き続き、学校行事の中で国際理解講演会を実施した。本年度は外務省アフリカ部アフリカ第一課の天川明香氏をお招きし、外務省の仕事、アフリカの文化や風土、エボラ出血熱等についての講話を実施した。

・第6回IIBC TOEIC エッセイコンテストに応募し、20人以上参加の団体に送られる奨励賞を授与された。

・各種高校生英語スピーチ大会へ参加した。

○人権・平和教育の実施

- ・世界一大きな授業 2014 へ参加
学校設定科目「環境科学」(理科)と「国語表現Ⅱ」(国語科)の授業で協働し、貧困や紛争、ジェンダー教育などを取りあげ、国際的な平和や持続可能な教育の在り方について学んだ。

○環境・防災・エネルギー教育の実施

- ・「環境科学」で ESD を学ぶ
年間授業計画を大幅に改善し、「自然環境と防災」「地域環境と産業」「生活環境とエネルギー」「生物多様性を考える」「環境情報と国際環境の中の日本」の5単元に分けて体系化した。そして、自分たちの身近な暮らしを意識させながら、どのように課題解決をするべきかを単元ごとに考察していく本校独自の授業計画を策定した。
- ・リスクマネジメント教育
外部講師を招き、再生可能エネルギーや原子力エネルギー等の昨今問題になっている時事問題を取りあげ、持続可能なエネルギー開発について深く考察する授業を行った。
- ・地域に密着した自然体験活動と NGO との連携・協働
NPO 法人常呂川自然学校の羽根石晃彦氏を外部講師としてお招きし、留辺薬町の無加川(東無加川・小松の沢川)に於いて、サケ等の川魚の生態や河川環境について調査研究する授業を実施した。また、プロジェクト WET などを通じた、ワークショップやグループワークなど、アクティヴラーニングの観点を取り入れた授業を展開した。
- ・学校設定科目「環境科学」に於いて、世界遺産を学ぶ授業を行う。
「守ろう地球のたからもの～豊かな世界遺産編～」を教材として使用した。
- ・「生物」(履修生徒 11 名)の植生分野の授業と絡め、留辺薬町内の八方台公園での植生調査を実施した。

○保育に関する教育の実施

- ・地元の幼稚園や保育園と連携し、幼稚園教諭や保育士による講話や子どもとの交流実習(運動補助など)を実施した。また、休日を利用し、地元のボランティアグループ(あのねの会)とともに、絵本や紙芝居の読み聞かせや子どものための木工教室を行った。
- ・3年次の総合的な学習の時間に於いて、課題研究英語ゼミ選択生による、地元の小学校での外国語活動と交流学習会の企画・運営を行った。

○福祉教育の実施

- ・ 介護施設での社会福祉実習
介護職員初任者研修修了の3年次生による3日間の地元の特別養護老人ホームやデイサービスセンターでの実習（夏季休業中）を行った。
- ・ 町内の高齢者が集う地元の交流会の運営協力
留辺蘂町内で地域高齢者が集う「るべしべ広場」において、「総合的な学習の時間」の課題研究福祉ゼミの生徒が司会進行、会場設営や展示などの運営に携わった。
- ・ 地域の障がい者を学校に招いての交流会を実施した。

（2）活動時間について（下記から選択して下さい。）

- ✓ 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- ✓ 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- ✓ その他（進路研究会での活動・生徒会での活動）